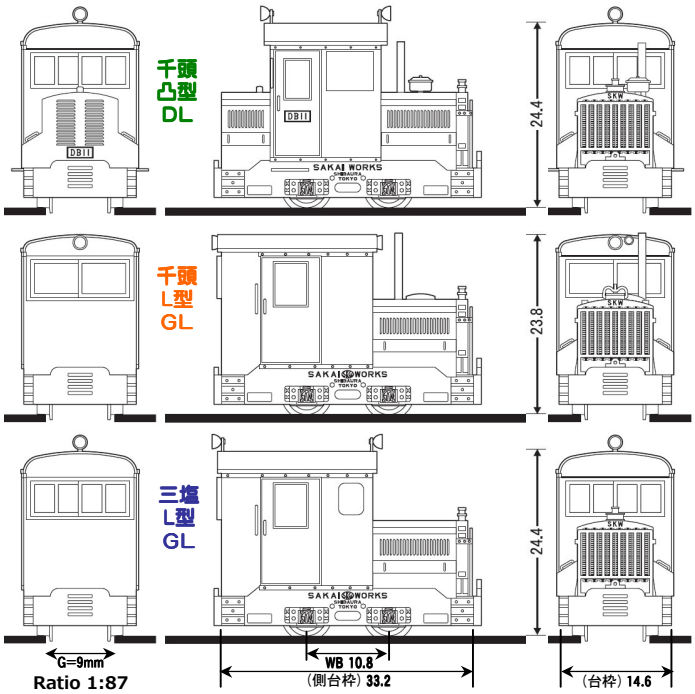
第13回 軽便鉄道模型祭記念

千頭/三塩の酒井3.5t内燃機

車体エッチング板（HO Scale）

以下の3種の中から好みの1台が作れるバリエーション・キットです



(C) 軽便鉄道模型祭事務局

メール keibenfes@gmail.com　公式ブログ http://keibenfes.exblog.jp/
設計・製造：アルモデル　監修：西 裕之

このたびは第13回軽便鉄道模型祭記念エッチング板をお買い上げいただきありがとうございます。

今回の題材は、森林鉄道で活躍した酒井工作所のB型3.5t内燃機関車。ここでいう“B型”とは軸配置のことではなく、鋳物台枠／チェーン駆動／セミセンターキャブの機種を指す酒井におけるメーカー形式名で、同じカテゴリには木曽の凸型DL・No.98・99がいます。

この製品では、東京営林局 千頭（せんず）森林鉄道の作業軌道で用いられた凸型ディーゼル機・L型ガソリン機と、山梨県林務部 三塩（さんえん）森林軌道のL型ガソリン機の計3種類の中から、任意の1種を製作可能なバリエーション・キットとしました。いずれも資料の乏しい機関車ですが、林鉄の泰斗・西 裕之さんのご協力により製品化が実現しました。

当製品は車体の基本部分のみのキットであり、動力・各種ディテールは〝おまかせ〟となりますが、ぜひ各自の創意工夫でお楽しみ下さい。

・パーツの切り離しは、歪みが出ないよう注意深く行ってください。板厚はt0.3となっておりますので、相応にデリケートな扱いが必要です。工具はマイクロタイプのニッパー、エッチング鋏、爪切りを推奨。

・板の折り曲げの際、スジ彫りが内側とならないケースもありますので注意して下さい。

・組立にはハンダ付を推奨しますが、場所によっては瞬間接着剤／エポキシで代用しても差支えありません。

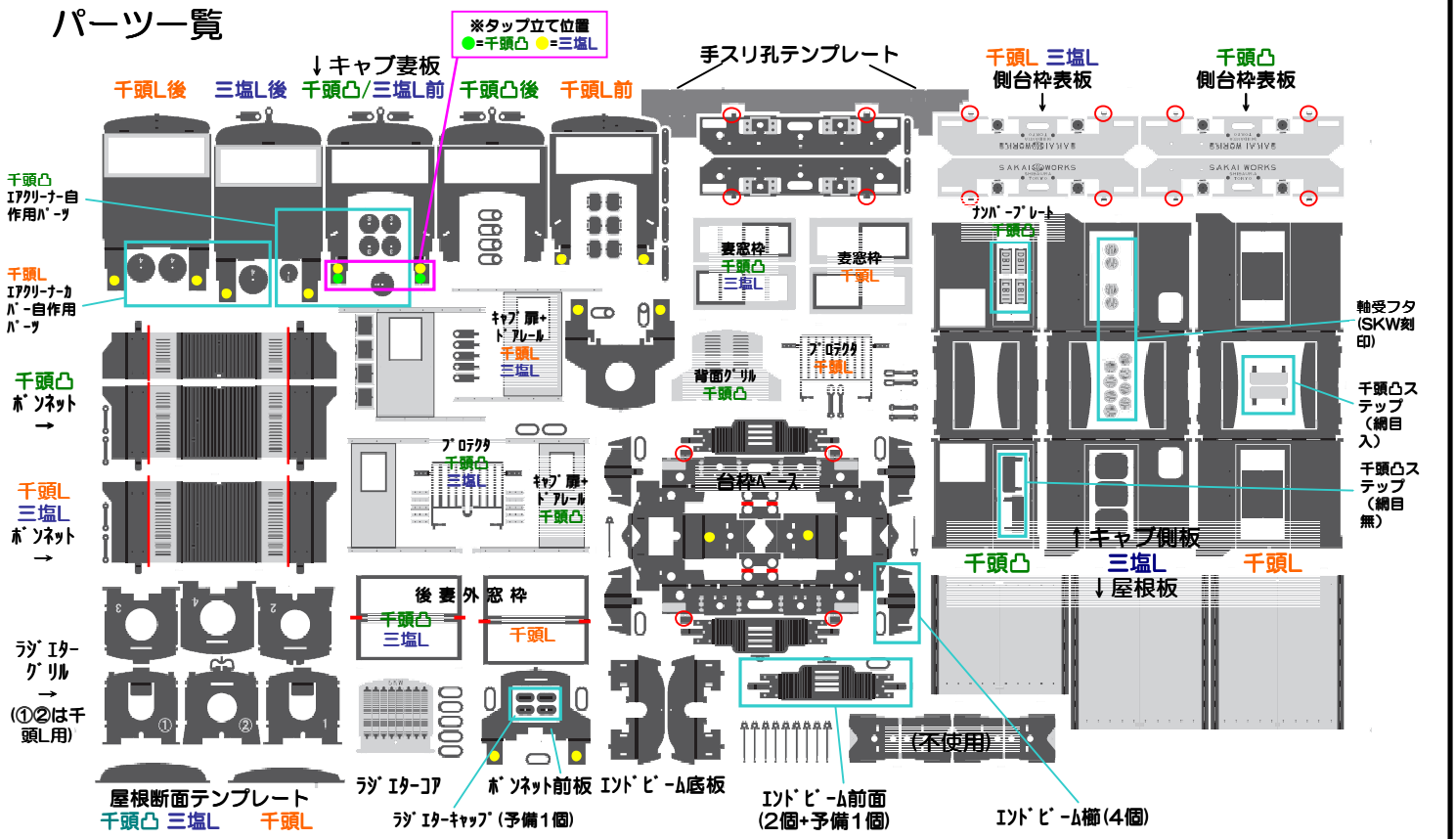
・タップ立てが必要な箇所があります。今回のキットのビスは全てM1.2使用前提の設計となっているため、M1.2のタップをご用意下さい。

・客用扉裏面には、手スリの追加工がしやすいようにポンチマークがあります。

・塗装は脱脂洗浄、プライマーで下処理ののちおこなってください。実物の色は、公式ブログに参考作例を掲載しましたが、『千頭L型』以外は正確なものは判っていません。いずれにせよ好みの色で仕上げてみてください。

※注意： このキットは製品の特性上ある程度の経験者向けであり、小さなお子様や工作知識のない方には適しませんのでご留意下さい。

パーツ一覧



▲上の図はエッチング板のランナーとゲート（バリ）を除いた状態を示しています。これを参考に、位置決め用の突起をバリと間違えて落とさないよう注意してランナーから切り離して下さい（※なお、側台枠の下端部〔○部〕は組立後に切除）／・赤いマーキング■の部分は、スジ彫りが外側になるように折り曲げます。／・黄色の丸印●（ボンネット／キャブ妻板下部ステー、台枠裏側動力取付部〕）にはあらかじめM1.2のタップを立てます。／・特に記載のないパーツはおまけです。（ピン/リンク類、妻面用ライトステー、砂箱フタ、ボンネット上点検蓋）

■推奨動力装置

◎ 【共通】アルモデル　B4007　アルパワーN-10.8S（千頭/三塩の酒井3.5t内燃機用）※M1.2ビス×2、千頭凸用Wメタル製エアクリーナー付属

■別売パーツ

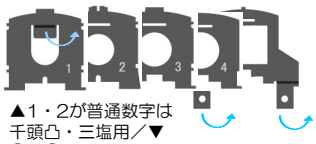
◎ 【共通】ヘッドライト(2個)：アルモデル B3003（HOナロー）オワン型ヘッドライト、エコーモデル おわん型ヘッドライト など
◎【共通】 M1.2×2ビス 8本（専用動力使用の場合は6本）※M1.4の小頭タイプでも可。ただし取付部の孔拡大要。
◎【千頭凸】アルモデル　エアクリーナーA／B
◎【千頭L】アルモデル　エアクリーナーカバー
◎【共通】排気管 外径φ0.8パイプ

★カプラー：付属のピン/リンク、もしくはモデルワーゲンの朝顔用ピン/先割れリンク使用。ケーディー使用の場合、物理的にZ用の#903が限度（取付は各自工夫のこと）。
★手スリ：線材（φ0.2～0.4）、ないしはNゲージ用ヒゲ付手スリ（トレジャータウン 汎用1.5・汎用2.7～3.4が好適）。裏面ポンチに従い孔アケ要。取付位置は、当説明書冒頭の図面を参考に。

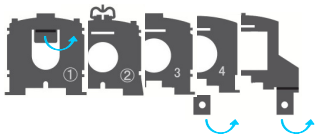
車体組立図

●ラジエターの組み順

ラジエターは正面のコアとボンネット前板を含め6枚のパーツを重ねて作るが、形が2種類あるので注意。

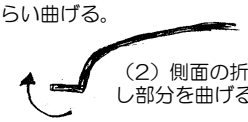


▲1・2が普通数字は千頭凸・三塩用／▼①・②は千頭L用(↓)



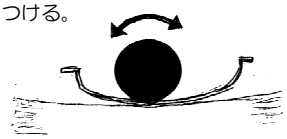
●屋根の曲げ方

（1）側面がわの端から１つ目のリベットを目印に万力ないしは目玉クリップで咥え、強く折り目がつかない程度に８０度くらい曲げる。

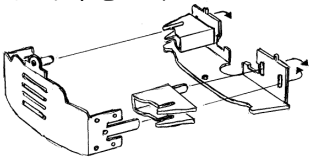


（2）側面の折り返し部分を曲げる

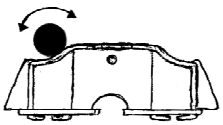
③最後に、紙の束（古雑誌等）の上に裏返しに置き、φ５程度の丸棒を押し当てて全体のRをつける。



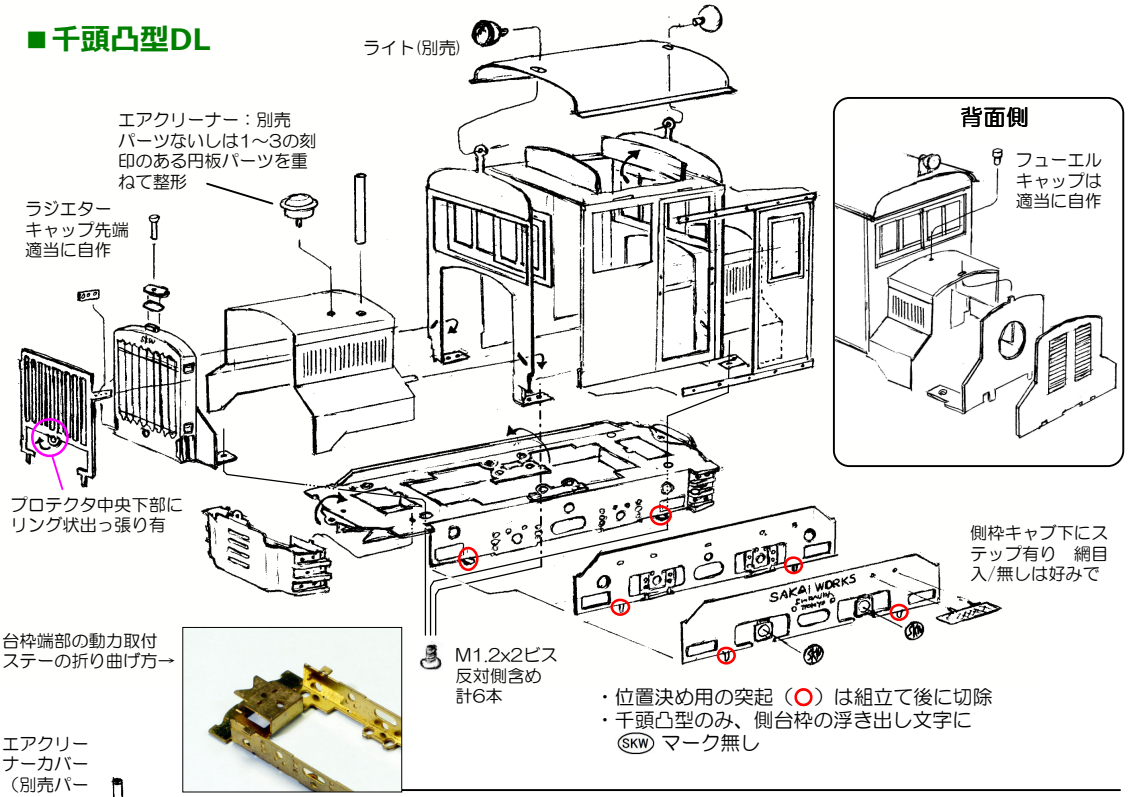
●エンドビーム



前面パーツの曲げ方：最初に軽く曲げた状態で底板に差し込んでホゾ組を済ませたのち、正面にφ２くらいの丸棒（ドライバー、爪楊枝等)を押し当てる。



■千頭凸型DL

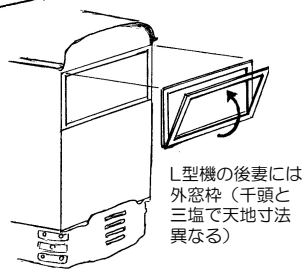


■千頭L型GL

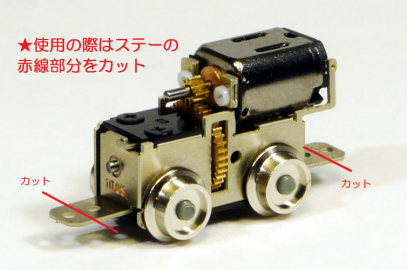
・妻面２枚窓 ライト妻面取付
・屋根のカーブもやや浅い
・ラジエターキャップは所謂リボン型
・プロテクタ中央下部のリング状出っ張り無し
・側台枠に SKW マーク有り

■三塩L型GL

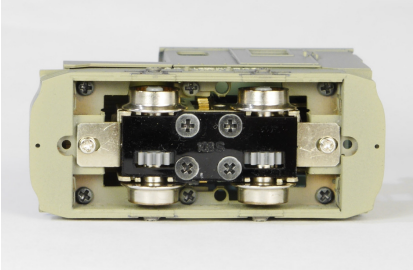
・妻面4枚窓 ライト屋根上取付
・キャブ側面に小窓あり
・ラジエター周りの造作は千頭凸型と共通
・側台枠に SKW マーク有り



L型機の後妻には外窓枠（千頭と三塩で天地寸法異なる）



■専用動力の取付け方

アルモデル製専用動力使用の場合、車体下部のステーの両端をカットする（左参照）。車体との固定ビスはM1.2x2を2本使用(製品同梱)。

右：車体に組み込みの状態（例は三塩L型）
台枠と上回りの固定はM1.2x6本による。